

## 社会との共創価値(CSV)の取り組み

### ■ CSVに関する基本的な考え方

当社グループは、「共創価値(CSV)」を経営の根幹とし、社会と事業それぞれの重要度を鑑みながら「人々の健康への貢献」「環境先進企業への進化」「コミュニティとの連携強化」の3つを優先課題と位置づけ、取り組みを推進しています。



### ■ SDGsの実現への貢献

2015年9月、ニューヨーク国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」において、150を超える加盟国代表の参加のもと、その成果文書として「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。このアジェンダの中心は17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」です。

SDGsに向き合うことはCSVの実現を目指す私たちにとって不可欠であるとの認識のもと、SDGsをCSVの取り組みの認識と評価における重要な指標と位置づけています。



## CSVを実現するための優先課題

### 人々の健康に貢献する

#### 健康に関する基本原則

私たちは、日々の暮らしに寄り添う企業として、常に品質・健康を第一に考え、幅広い世代のニーズと嗜好に合った価値ある商品・サービスを提供します。加えて、正しい飲食習慣の啓発やスポーツに親しむ機会等を通じて、人びとの健康の維持増進に努め、活動的かつ健康的なライフスタイルを提唱していきます。

- 取り組み例
- 品質管理の徹底
  - 多様な製品の提供でお客さまの健康を支援
  - 飲料知識の啓発活動と成分情報表示の充実



### 環境先進企業へ進化する

#### 環境に関する基本原則

私たちは、事業活動に欠かせない水を含めた自然資源を有効活用し、地球環境を持続可能な形で次の世代へ引き継いでいくことを重要な使命と捉えています。そのために、環境負荷の低減と事業の成長を両立するイノベーションにより地球環境の保全を進め、地域社会における自然環境の保護と環境啓発を通じて、地域社会との共創価値(CSV)を実現します。

- 取り組み例
- 水資源保護活動の実施
  - 温室効果ガス排出量の削減
  - リサイクルの推進
  - 環境負荷の少ない容器の採用



### コミュニティとの連携を強化する

#### コミュニティに関する基本原則

私たちは、長年にわたり育んできた地域社会とのつながりを今後も深め、持続可能な未来に向けて社会とともに発展します。みなさまに愛される企業として、これからも地域の活性化とともに、社会や地域のかかえる課題と向き合い、地域社会と当社グループとの共創価値(CSV)を実現します。

- 取り組み例
- コカ・コーラレッドスパークス スポーツクリニック
  - サマースクール
  - 環境美化活動
  - 「森に学ぼう」プロジェクト等



市村自然塾 九州





### 特定保健用食品・機能性表示食品の発売

お客さまのさまざまなライフシーンに寄り添う企業として、時代のニーズに合った豊富なラインナップでおいしい飲料とともにさわやかなひとときをお届けしています。お客さまの健康志向の高まりを受け、特定保健用食品や機能性表示食品を拡充しており、2018年はトクホの緑茶「綾鷹 特選茶」を発売しました。心と体をうるおしながら、健康増進にも役立つ製品を提供することで、お客さまの生活をサポートしています。



特定保健用食品

機能性表示食品

特定保健用食品および機能性表示食品に関する許可表示・届出表示等の詳細は、<https://www.cocacola.co.jp/inryoguide/lineup> をご覧ください。

### 水分補給セミナーの開催

日常生活やスポーツなどさまざまなシーンにおける正しい水分補給について知っていただくために、学校や各種団体・企業のみなさまを対象とした水分補給セミナーを開催しています。2018年は、44回の水分補給セミナーを実施し、約7,000名にご参加いただきました。セミナーを受講した方からは「規則正しい生活が大切なことをあらためて認識しました」「ミネラルの大切さが学べた」「水分補給のタイミングが分かった」などの声をいただいています。



### 工場見学プログラム

工場見学を通じて、製造工程や食品安全への取り組みなどをわかりやすく説明し、あらゆる世代の方々に信頼されるパートナーを目指しています。

工場見学を、お客さまやお得意さまをはじめとするステークホルダーのみなさまとのダイレクト・コミュニケーションの重要な機会と位置づけています。2018年は、蔵王(宮城県)、多摩(東京都)、東海(愛知県)、京都(京都府)、小松(愛媛県)、えびの(宮崎県)の工場で見学会を実施し、約16.7万人のお客さまにご来場いただきました。



### スポーツクリニック、ラグビー・ホッケー教室の開催

カンパニースポーツとして、男子ラグビー部と女子ホッケー部(ともにコカ・コーラレッドスパークス)を保有しています。

地域のみなさまに活動的で健康的な生活を提案するとともに、青少年の心身の健全な育成に貢献すべく、レッドスパークスによるスポーツクリニックやラグビー・ホッケー教室を開催しています。2018年は、38回開催し、約4,400名にご参加いただきました。



### 廃棄物ゼロ社会を目指して 容器の2030年ビジョン

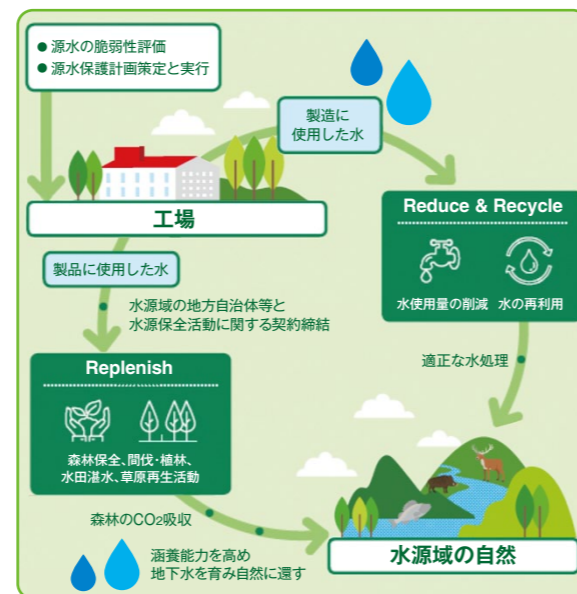
2018年1月、日本のコカ・コーラシステムは「容器の2030年ビジョン」を発表しました。これは2018年に米国のザ コカ・コーラ カンパニーが発表した、廃棄物ゼロ社会の実現を目指すグローバルプランに基づくものです。CCBJHグループはコカ・コーラシステムの一員として、当ビジョンの実現に向けた取り組みを一層加速させていきます。

#### 「容器の2030年ビジョン」3つの柱

- 1 PETボトルの原材料として、可能な限り、枯渇性資源である石油由来の原材料を使用しません。原材料としてリサイクルPETあるいは植物由来PETの採用を進め、PETボトル一本あたりの含有率として、平均して50%以上を目指します。
- 2 政府や自治体、飲料業界、地域社会と協働し、国内のPETボトルと缶の回収・リサイクル率の更なる向上に貢献すべく、より着実な容器回収・リサイクルスキームの構築とその維持に取り組めます。国内で販売した自社製品と同等量の容器の回収・リサイクルを目指します。
- 3 清掃活動を通じて、地域の美化に取り組めます。また、容器ゴミ、海洋ゴミに関する啓発活動に積極的に参画してまいります。

### 水資源保護活動の推進

各工場の水源域において地域行政や森林組合などと協定を結び、水資源保護活動を行っています。森林や草原の保全・再生、涵養能力が高い水田の湛水などに取り組んでおり、水源涵養面積は現在、約6,974ha(前年比+391ha)となっています。



## 人権尊重と社員の働きがい —ダイバーシティ推進—

### 人権啓発活動、女性活躍推進

私たちは、人権問題全般の正しい理解、多様性尊重の風土醸成、人権に対する意識の向上を図るため、研修やeラーニングを実施しており、特に管理職向けにはハラスメント撲滅に向けた啓発活動を強化しています。

女性活躍においては、女性があらゆる場面で活躍することを目指し、女性のキャリア支援、仕事と育児の両立支援など社員の行動・意識改革の取り組みを実施しています。これらの取り組みの結果、当社は、女性活躍推進に優れた上場企業として2019年「準なでしこ銘柄」に選定されました。



女性リーダー育成プログラム



準なでしこ銘柄

### 新しいドレスコード「Sawayaka Style」導入

“さわやか”な装いから、働きやすい職場づくりを実現すべく、新しいドレスコードを導入しました。個性や前向きな考え方を歓迎・尊重することにより、互いに気持ちよく仕事ができる環境づくりを目指しています。

ビジネススーツや当社指定ユニフォームだけでなく、ポロシャツやジーンズなどTPOに応じたカジュアルなビジネススタイルを提唱しています。



「Sawayaka Style」の着こなし例